

2018年3月理事会議事録

日 時：2018年3月24日（土）14：00～16：30

場 所：日本考古学協会事務所

出 席：谷川章雄・石川日出志・大島直行・小笠原永隆・岡山真知子・小澤正人・菊池誠一・久保田正寿・佐々木和博・佐々木憲一・佐藤宏之・篠原和夫・杉井 健・関根達人・都築恵美子・橋本裕行・宮本一夫・矢島國雄・長瀬 衛、監事：唐澤至朗・吉田哲夫、（事務局：林 純子・堀田菜摘子）

欠 席：近藤英夫・岡内三眞・瓦吹 堅・新納 泉・堀内秀樹

進 行：宮本一夫

議 長：谷川章雄

宮本理事から、本日の出席者は21名で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

会員の訃報について

宮本理事から、長野県の平出一治会員が2018年1月5日、東京都の川床睦夫会員が1月21日、長崎県の本本雅康会員が1月24日、千葉県の上野卓也会員が2月4日、奈良県の関 恕会員が3月13日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

議案第461号 2018年度予算（案）について

都築理事から、本年度の支出実績を踏まえて各委員会の予算要求の見直しを行い、2018年度予算案を作成した。2018年度予算案は、70周年記念に係わる事業や2017年度に新規設置された災害対応委員会に予算を計上したことにより、各事業において旅費交通費の支出を抑えた予算案となっているとの説明があり、原案通り承認した。続けて、橋本理事から、補助金収入額は申請額であることから、補助金額の決定を受けて変更がある場合は、改めて修正案を提示するとの補足説明があった。また、平成28年熊本地震募金については、支出に平成28年熊本地震対策特別委員会が現地調査を行う際の交通費を一部計上している。収入については、担当の宮本理事から、2017年度末をもって募金の受付を終了する予定であるとの説明があり、募金収入額を一部変更の上、承認した。

議案第462号 第8回日本考古学協会賞について

関根理事から、2月21日（水）に選考委員会を開催し、①応募のあった5件の審査を行い、大賞1名、奨励賞2名を選考した。②新設された優秀論文賞について、機関誌『日本考古学』編集委員会から推薦のあった1名の審査を行い推薦案を承認したとの報告があり、選考を承認した。

続けて石川副会長から、選考委員会から、①協会賞規定第3条の軽微な変更案の提示、②提出業績が著書の場合、現状では原本1部提出の上で他5部についてはコピー提出も認められているが、原本提出者との公正さに欠ける恐れがある、③優秀論文賞の設置に伴い推薦書の書式の整理が必要であるとの意見があると説明があった。審議の結果、①につい

ては現行規定の通りとし、②について今後は著書の場合はすべて原本を求める、③については検討を進めることで承認した。

議案第463号 監事の選任について

石川副会長から、1月理事会議案第458号のとおり、監事2名の選任時期を交互にして円滑な組織運営を行うために、一時的に監事3名体制としたいとの説明があり、新監事候補者1名の推薦提案があった。審議の結果、原案を承認し、次期監事候補として第84回総会に諮ることとなった。

議案第464号 退会の承認について

佐々木理事から、北海道の*会員、青森県の*会員、東京都の*会員、神奈川県*会員、京都府の*会員、香川県の*会員、福岡県の*会員、鹿児島県の*会員の8名から2017年度をもつての退会届、新潟県の*会員からは2018年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、退会を承認した。

報告第619号 第84回総会について

小澤理事から、第84回総会日程並びに理事役割分担(案)の説明があった。第84回総会は、5月26日(土)の定時総会終了後に名誉会員・日本考古学協会賞・70周年記念事業の永年在籍会員の表彰式があることから、各担当理事には円滑な総会進行への協力が求められ、了承した。

報告第620号 理事選挙について

久保田理事から、2月10日(土)に第2回選挙管理委員会を開催し、荒井委員長・市川副委員長とともに「選挙公報」を作成した。立候補者は24名であり、4月7日(土)に開票作業を行うとの報告があった。続けて石川副会長から、円滑な組織運営のために、各事業や課題について次期理事会へ説明する機会として、新理事候補者との引継ぎ準備会を次回理事会終了後に開催したいとの説明があり、了承した。

報告第621号 2017年度事業報告について

橋本理事から、第84回総会における遅滞のない進行並びに次期理事会への引継ぎにあたり、各委員会担当理事に、今年度の事業報告及び来年度の事業計画について、期日までの提出が求められた。

報告第622号 協会設立70周年記念事業小委員会報告

矢島理事から、70周年記念の各事業の進捗状況について、①第84回総会における永年在籍会員の表彰については、出欠席者の把握を進めており、現在23名から出席の連絡をいただいている。②2018年度実施の公開講演会について、登呂遺跡は11月3日(土)に静岡市登呂博物館で講演とワークショップを、加曽利貝塚は11月17日(土)に千葉市生涯学習センター大ホールで講演とミニシンポジウムを行う予定である。③学術刊行物『日本考古学・最前線』及び機関誌『日本考古学』70周年記念号について、それぞれ4月に編集委員会

を開催する予定であるとの説明があり、了承した。

報告第623号 文化遺産防災ネットワーク推進会議について

杉井理事から、3月19日（月）に「地域の文化財防災体制に関する協議会」に近藤副会長と参加したとの報告があり、日本考古学協会としての関わり方を検討する必要性が提示された。

報告第624号 陵墓報告

杉井理事から、①本年度の立入り観察を2月23日（金）に実施した。対象とした陵墓は、四条塚山古墳（綏靖天皇桃花鳥田丘上陵）で、当会からは杉井理事が参加し、立入り観察後に実施した事後検討会には杉井理事と共に新納理事が参加した。②今後の立入り観察対象古墳について協議を進めているとの報告があり、了承した。

報告第625号 英文機関誌編集委員会報告

宮本理事から、2月18日（日）に編集委員会を開催し、①『Japanese Journal of Archaeology』（以下、JJA）Vol. 5, No. 2の進捗状況について、3月中にサイトにアップする予定であることを確認した。②『JJA』Vol. 6, No. 1の投稿状況及び掲載予定内容について協議した。③2018年度に実施予定の事業について検討を行った。④来年度以降の委員会体制について協議したとの報告があり、了承した。

報告第626号 研究環境検討委員会報告

大島理事から、2月17日（土）及び3月10日（土）に委員会を開催し、①2018年度の第84回総会におけるポスターセッションは、埋蔵文化財保護行政に関わる職員の採用動向に関するアンケートについての検討内容とし、総会会場では追加アンケートも実施する予定である。②機関誌『日本考古学』70周年記念号の執筆担当について協議した。③委員の退任に伴う次期委員会体制について協議したとの報告があり、了承した。

報告第627号 社会科・歴史教科書等検討委員会報告

佐々木和博理事から、小学校第6学年の社会科教科書に旧石器時代の記述を求める要望を、2月19日（月）に、文部科学省のホームページに設置された教科書に関する意見提出窓口に提出したとの報告があり、了承した。

報告第628号 広報委員会報告

小澤理事から、2018年3月10日（土）に委員会を開催し、マスコミ対応等に関する広報マニュアルについて検討したとの報告と共に、各理事に1月理事会時に依頼した公式サイトに関するアンケートについて、改めて回答の協力が求められた。

報告第629号 埋蔵文化財保護対策委員会報告

小笠原理事から、2月17日（土）及び3月17日（土）に委員会を開催し、①文化庁文化審議会による第一次答申を受けて国会に文化財保護法改正案が提出されており、引き続き

状況を注視していく。②柏崎市西岩野遺跡について、3月10日（土）に文化財保存新潟県協議会のシンポジウムに参加した。③鎌倉市円覚寺西側結界遺構について、状況に動きがあるため情報収集等を行い注視していく。④坂東市神明遺跡について、関係機関との面談を実施した。⑤3月20日（火）に平成28年熊本地震対策特別委員会と合同で文化庁と面談を行い、沼津市高尾山古墳の保存問題や埋蔵文化財保護行政における資格問題等について意見交換を行ったとの報告があり、了承した。

報告第630号 会費高額滞納者について

都築理事から、1月理事会において督促を要請した3万円の高額滞納者について、会費納入が確認されていない会員に対し、各理事に改めて督促を要請された。

以 上